

平成22年度

教育委員会自己点検・評価  
報告書



塩尻市教育委員会

# 目 次

平成22年度 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・ 1

塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要・・・・・・・・ 5

平成22年度 事業部目標

こども教育部・・・・・・・・・・ 7

生涯学習部・・・・・・・・・・ 8

市民交流センター・・・・・・・・・・ 9

平成22年度 教育委員会自己点検・評価（総括表）・・・・ 10

平成22年度 教育委員会自己点検・評価（個表）・・・・ 12

教育委員会の運営・・・・・・・・・・ 12

人権意識をたかめ、人権をまもります・・・・・・・・ 13

男女共同参画社会をつくります・・・・・・・・ 15

特色ある学校教育をおこないます・・・・・・・・ 17

子ども達の成長と発達を支援し学習機会を提供します・・・・ 19

地域とともに子どもたちの健やかな成長をささえます	21
生涯学習を支援します	23
スポーツに親しめる環境と機会をつくれます	25
市民の芸術文化活動を支援します	27
地域の歴史・文化をまもり活かします	29
子育てと仕事の両立を支援します	31
悩みを抱える家庭を支援します	33
市民公益活動を促進します	35
市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します	37

平成22年度 塩尻市教育委員会の活動状況

1. 教育委員

氏名	区分	任期	委員長等 就任年月日	備考
百瀬 哲夫	委員長	H19.6.26～H23.6.25	H15.6.26	
丸山 典子	職務代理者	H19.6.26～H23.6.25	H18.6.22	
村田 茂之	委員	H18.6.22～H22.6.21		H22.6.21退任
田中 佳子	委員	H21.7.1～H25.6.30		
石井 實	委員	H22.6.22～H26.6.21		
御子柴 英文	教育長	H20.6.27～H24.6.26	H21.7.1	

2. 定例・臨時教育委員会

期日	会議	案 件	
4月22日	4月定例	報告案件	平成22年度教育委員会事業部目標について 平成21年度中学校卒業生進路状況について〈非公開〉 要保護及び準要保護児童生徒の認定について〈非公開〉
		その他案件	「豊かな心を育む市民の集い」開催要領について
5月20日	5月定例	議事案件	平成22年度塩尻市奨学生の選考について
		その他案件	教育委員会関係補正予算(案)について 教育委員会関係例規制定・改正(案)について
6月25日	6月定例	報告案件	市議会6月定例会報告について 人権擁護委員の推薦について 信州大学附属図書館との返却ポイントサービスについて
	臨時	議事案件	教育委員長の選出について 百瀬哲夫教育委員長再任(任期 H22.6.26～H23.6.25) 教育委員長職務代理者の選出について 丸山典子教育委員長職務代理者再任(任期 H22.6.26～H23.6.25)
6月30日	臨時	議事案件	塩尻市塩嶺体験学習の家条例施行規則の制定 塩尻市立図書館管理規則の一部を改正する規則 塩尻市職員の勤務時間等の特例に関する規程の一部を改正する訓令 塩尻市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令
7月23日	7月定例	議事案件	平成23年度から使用する小学校用教科用図書の採択について
	塩嶺体験 学習の家	その他案件	「笑顔で登校支援事業ー楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U」 について 平成22年度早ね早おき朝ごはん・どくしょ市民運動事業計画 平成22年度元気っ子応援事業概要
8月20日	8月定例	議事案件	平成23年度に使用する中学校の特別支援学級用教科用図書の採択について
		その他案件	平成22年度教育委員会関係補正予算(案)について 不登校児童・生徒の状況について〈非公開〉
9月16日	9月定例	報告案件	「全国短歌フォーラムin塩尻」の投稿状況について 市議会9月定例会報告について
		議事案件	全国学力・学習状況調査結果の公表について
10月28日	10月定例	議事案件	塩尻市木曾平沢伝統的建造物群保存地区保存計画の変更について 教育委員会の自己点検・評価について
11月19日	11月定例	報告案件	第三次塩尻市男女共同参画基本計画見直し(案)について
		その他案件	教育委員会関係条例改正(案)について 平成22年度教育委員会関係補正予算(案)について 実施計画査定結果及び平成23年度予算要求主要事業について
12月16日	12月定例	報告案件	市議会12月定例会報告について
		その他案件	平成23年度教育委員会関係予算(案)重点施策について
1月21日	1月定例	報告案件	平成23～25年度実施計画について 両小野小中一貫教育推進計画について

2月18日	2月定例	その他案件	教育委員会規則、規程等の改正(案)について 教育委員会関連例規改正(案)について 平成22年度教育委員会関係補正予算(案)について 平成23年度教育委員会関係予算(案)について 平成23年度教育委員会関係行事予定(案)について
3月25日	3月定例	報告案件	市議会3月定例会報告について 4月1日付人事異動内示について 校長・教頭の人事異動について 長野県公立高等学校入学者選抜の結果について〈非公開〉
		議事案件	塩尻市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 塩尻市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する訓令
		その他案件	平成23年度教育委員会関係行事等予定(案)について

### 3. 協議会

期日	協議事項
5月20日	教育委員会の自己点検・評価について 平成22年度「こんにちは教育委員会」の実施について 平成22年度教育委員視察研修について 退任委員総括：「やれたこと、やれなかったこと」
6月25日	教育委員会の自己点検・評価について 平成22年度「こんにちは教育委員会」の実施について
7月23日	市長との懇談
8月20日	平成21年度家庭教育室に寄せられた家庭児童相談件数について 教育委員会の自己点検・評価について 平成22年度教育委員視察研修について
9月16日	教育委員会の自己点検・評価について 平成22年度教育委員視察研修について
10月28日	木育の推進について こんにちは教育委員会について
11月19日	総合文化センター配置計画(案)について テーマ懇談「学力向上についてー秋田県の取組みなど」 こんにちは教育委員会の開催について
12月16日	テーマ懇談「就学指導援助を必要とする家庭が増えているのはなぜか」 こんにちは教育委員会のまとめ
1月21日	テーマ懇談「学校体育・社会体育に何を求めるか」 要保護児童の事例報告
2月18日	テーマ懇談「学校体育・社会体育に何を求めるか その2」 小・中学校卒業式・入学式の出席調整
3月25日	平成22年度の反省と新年度の課題について

### 4. こんにちは教育委員会

11月25日 宗賀小学校 授業参観、学校をめぐる諸課題について教職員とのグループ懇談

### 5. 教育委員研修

5月11日 長野県女性教育委員連絡協議会研修総会(飯山市)  
10月14・15日 教育委員視察研修(東京都台東区・大田区)  
10月22日 第54回長野県市町村教育委員会研修総会(木曽町)  
10月22日 長野県都市教育委員会連絡協議会(木曽町)

## 6. 教育委員会関係の主な行事

期日	担当課	行事名
4月18日	市民活動支援課	さくらフェスタ2010
5月23日	スポーツ振興課	第35回塩尻市小中学生陸上記録会 (第5回中信地区小学生陸上競技大会予選)
5月30日	平出博物館	第7回ひらいで遺跡まつり
6月9日	総務課 市民活動支援課	市民交流センター開館50日前カウントダウンイベント
6月11日 ～13日	社会教育課	塩尻市民芸術祭
6月20日	スポーツ振興課	第20回スポレクバイアスロン大会
7月3日	男女共同参画課	豊かな心を育む市民の集い
7月4日	教育総務課	塩嶺体験学習の家オープニングセレモニー
7月11日 ・19日	社会教育課	第6回塩尻市民音楽祭
6月29日 ～7月20日	スポーツ振興課	ピラティス講座
7月29日	総務課	市民交流センター開館記念式典
7月29日	総務課	市民交流センターオープニングイベント
8月3・4日	家庭教育室	塩尻市内小中学校 特別支援教育研修会
8月4・5日	家庭教育室	早ね早おき朝ごはん・どくしょ合宿
8月21日	スポーツ振興課	第30回塩尻市水泳競技大会
8月28日	子育て支援センター	塩尻市こども広場 開館テープカット
8月28日	総務課・子育て支援センター	「高野優」元気になる子育て講演会
9月5日	スポーツ振興課	第22回塩尻市ファミリースポレクフェスティバル
9月16日	総務課	市民交流センターオープニング来館者10万人達成イベント
9月26日	スポーツ振興課	第2回塩尻ぶどうの郷ロードレース
10月3日	ふれあいプラザ	第26回ふれあいプラザまつり
10月3・4日	社会教育課	第24回全国短歌フォーラム in 塩尻
10月17日	社会教育課	第4回塩尻市民コーラス祭「秋桜コンサート」
10月23日	総務課	えんぱーくまつり
11月1日 ～3日	社会教育課	塩尻市民文化祭
11月7日	社会教育課	第5回塩尻市民洋楽舞踊フェスティバル
11月13日	男女共同参画課	女と男21世紀セミナーシンポジウム みんなでワーク・ライフ・バランス
11月14日	図書館	第14回古田晁記念館文学サロン
11月27日	社会教育課	第24回全国短歌フォーラム in 塩尻「学生の部」
12月12日	社会教育課	第4回塩尻市民演劇フェスティバル
1月9日	社会教育課	平成23年 塩尻市成人式
1月22日	スポーツ振興課	第51回塩尻市民体育祭冬季大会スケート競技会 第31回塩尻市・朝日村ジュニアスケート競技会
2月6日	スポーツ振興課	第12回キンボール交流大会
2月6日	塩尻短歌館	第16回短歌の里百人一首大会

## 7. 教育委員会の市民向け情報発信

市広報紙「広報しおじり」特集記事掲載

掲載号	ページ数	担当課	特集名
6月1日号	1	社会教育課	塩尻市民芸術祭
6月15日号	4	教育総務課	はつらつとした成長を支える小・中学校の取組み
7月1日号	2	社会教育課	塩尻市民音楽祭
7月15日号	1	教育総務課	塩嶺体験学習の家オープン
8月1日号	2	スポーツ振興課	ファミリースポレクフェスティバル
9月1日号	2	図書館	新図書館オープン
9月15日号	2	社会教育課	短歌を奏でるまち、塩尻
10月15日号	1	こども課	保育園入園手続きのご案内
10月15日号	1	教育総務課	全国学力・学習状況調査結果
10月15日号	1	社会教育課	塩尻市民文化祭
10月15日号	1	社会教育課	木曾漆器館がリニューアルしました
11月1日号	2	教育総務課	小中一貫教育
11月1日号	2	スポーツ振興課	塩尻ぶどうの郷ロードレース
1月1日号	7	教育総務課	子ども議会
1月1日号	3	教育総務課	みんな笑顔で学び舎へ
2月1日号	2	社会教育課	全国短歌フォーラムin塩尻学生の部入選作品発表
4月～9月	毎月1日号	図書館	図書館だより
10月～3月	毎月1日号	総務課	fromえんぱーく
4月～3月	毎月1日号	レザンホール	レザンホールへ行こう

## 塩尻市教育委員会における自己点検・評価の概要

### (1) 制度導入の経緯

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正（平成19年6月）により、すべての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされました。

これにより、塩尻市教育委員会においては平成21年度（平成20年度事業）から制度の導入を行い、自己点検・評価を行っています。

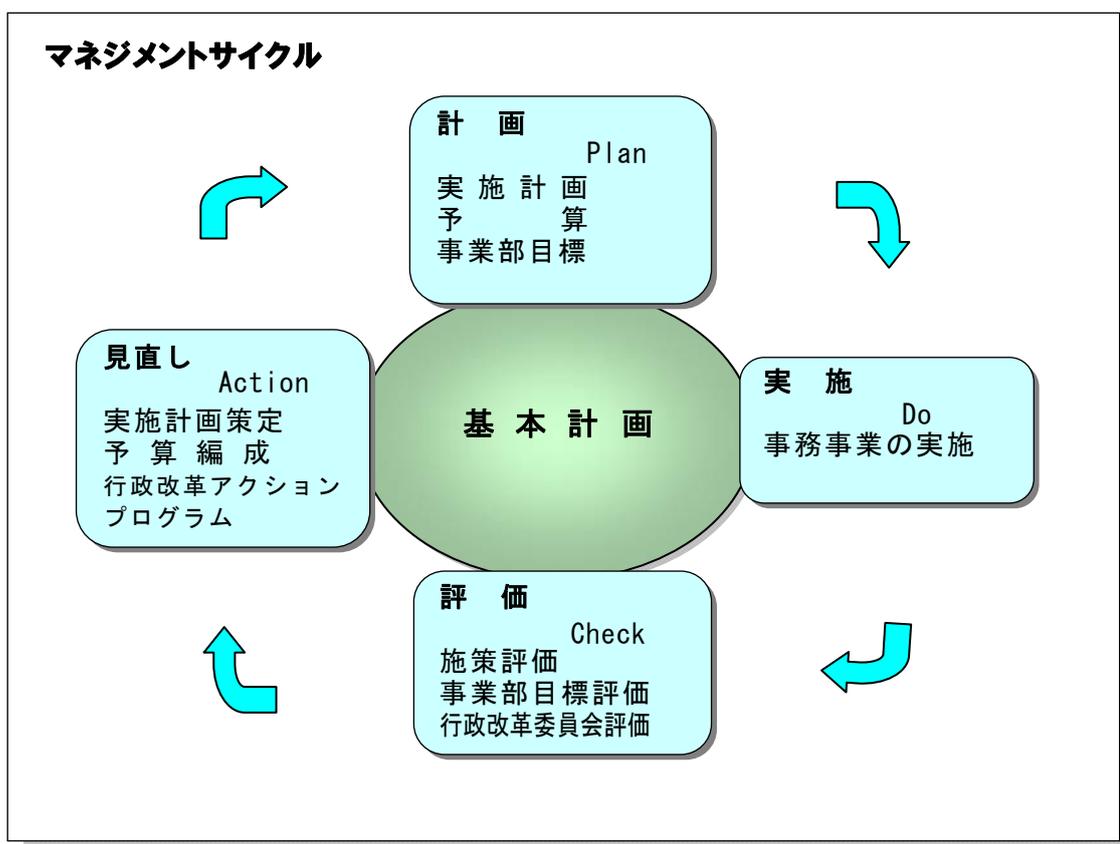
### (2) 制度導入の目的

#### ア 市民により近い存在としての教育委員会

自己点検・評価を広く公表することにより、教育委員会としての説明責任を果たし、市民により近い存在としての教育委員会を目指します。

#### イ 質の高い効率的な事務の実現

事業部目標に基づき事業を実施することはもちろんのこと、評価や検証をしながら改善を行うことにより、事業の効果を高めるマネジメントリサイクル **Plan : 計画 → Do : 実施 → Check : 評価 → Action : 見直し** の確立を図り、限られた財源や人員を有効に活用していきます。



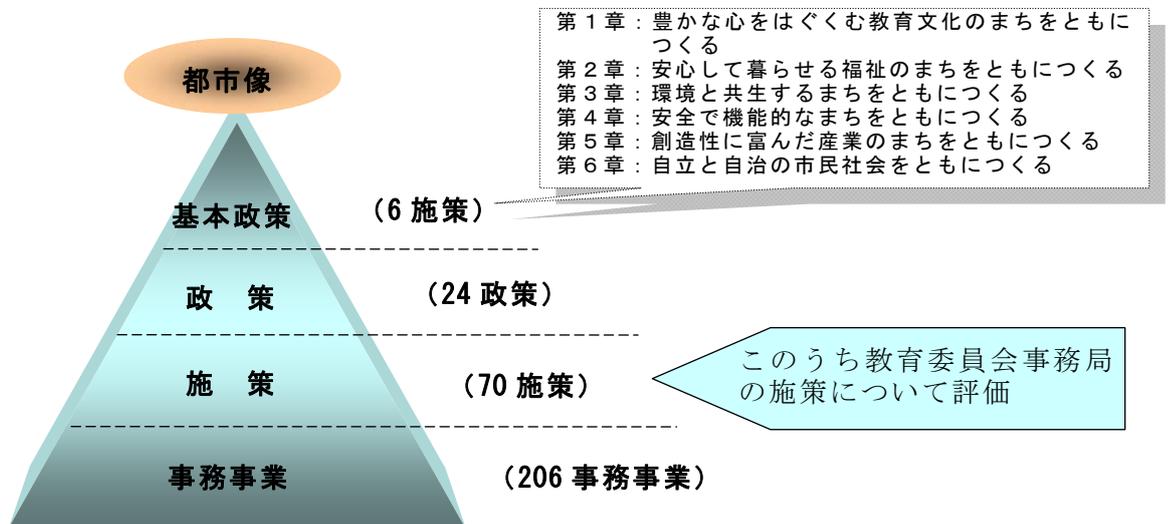
## ウ 効果的な事業の運営

事業の妥当性、効率性及び有効性などの視点から評価を行い、より効果的な事業の運営を図ります。

### (3) 評価対象事業

塩尻市が実施する施策評価を基本として活用し、後期基本計画に掲げる70施策のうち、教育委員会（こども教育部、生涯学習部、市民交流センター）が所管する事業等および教育委員会の運営について自己点検・評価を行います。

#### 【後期基本計画の施策体系】



### (4) 評価のプロセス

塩尻市が実施した施策評価のうち教育委員会関係分を用い、施策を所管する担当課が、目標指標の達成度、事務事業の進捗状況や事業実施の成果等を総合的に判断して行った自己評価を基に、教育委員会が全体的な評価を確認し、意見を付しました。

# 平成22年度 事業部目標

部名	こども教育部
----	--------

## I 使命(ミッション)

1	子どもの「生きる力」の育成や生涯にわたる学習の基礎を培うことを目指して、特色ある学校教育を推進するとともに、学習環境の整備を図ります。
2	子どもたちの、それぞれの状況や成長段階に応じた教育と相談、就学の支援、並びに幼・保・小・中・高の一貫した教育支援を推進します。
3	子どもたちが生活していくうえで必要な社会規範やルール、自主性などを身につけるため、家庭、保育園・幼稚園、学校、地域など関係機関が連携をとり、子どもの健全育成活動の充実を図ります。
4	子どもたちを健やかに育てることのできる家庭や地域の実現を目指して、子育て家庭の様々な負担を軽減し地域ぐるみで子育てを支援する体制を整えます。 また、働きながら子どもを育て、安心して社会活動ができる環境づくりを進めるため、就労と育児の両立支援を行い、多様な保育ニーズに対応できるよう、保育内容の更なる充実に努めます。
5	子どもの教育やしつけに関する様々な不安や悩みを解消し、親が安心して子育てができるよう、個別の事情に応じたサービスを提供するとともに、家庭機能の充実にむけた支援に努めます。

## II 行政資源(平成22年4月1日現在)

正規職員	塩尻市全職員数	職員	544 名
	こども教育部	職員	174 名
	他団体からの派遣	職員	2 名
		こども教育部 計	176 名
		こども教育部 職員比率	32.0 %

予算規模	一般会計	:	3,762,999	千円
	塩尻市奨学資金貸与事業特別会計	:	18,580	千円
		:		千円
		:		千円
		:		千円
	総予算	計	3,781,579	千円

# 平成22年度 事業部目標

部名	生涯学習部
----	-------

## I 使命(ミッション)

1	市民一人ひとりの個性と能力を尊重し、お互いの人権を認め合う思いやりにあふれた社会の実現を目指します。
2	市民一人ひとりが主体的に、いつでも、どこでも学び活動することができるきっかけづくりをします。
3	市民一人ひとりが、健康で明るい生活をおくることができるよう、スポーツに親しめる環境をつくれます。
4	生涯にわたり豊かでかおり高い文化をまもり、育てます。
5	市内の優れた歴史・文化遺産の保護、保存、するとともに、積極的に活用を図ります。

## II 行政資源(平成22年4月1日現在)

正規職員	塩尻市全職員数	職員	544	名	
	生涯学習部	職員	33	名	
	他団体からの派遣	職員		名	
		生涯学習部	計	33	名
		生涯学習部	職員比率	6.1	%

予算規模	一般会計	:	1,106,805	千円
		:		千円
		総予算	計	1,106,805

# 平成22年度 事業部目標

部名	市民交流センター
----	----------

## I 使命(ミッション)

1	市民交流センターを開館し、基本コンセプト「知恵の交流を通じた人づくりの場」の実現を目指して、事業や活動を展開します。
2	市民の様々な生活課題に応えられる多機能型図書館として、また、塩尻ブランドを発信できる図書館として、資料の充実を図るとともに、利用者サービスを向上させ、老若男女が憩い、集える滞在型の図書館づくりを進めます。
3	市民サポーター組織(えんぱーくらぶ)との協働関係を構築するとともに、主体的な活動を支援します。
4	未就園児、保護者への支援事業の充実を図るとともに、市民と協働し、安心して子育てしやすい環境づくりを進めます。

## II 行政資源(平成22年4月1日現在)

正規職員	塩尻市全職員数	職員	544	名	
	市民交流センター	職員	19	名	
	他団体からの派遣	職員		名	
		市民交流センター	計	19	名
		市民交流センター	職員比率	3.5	%

予算規模	一般会計	:	619,838	千円
		:		千円
		総予算	計	619,838

平成22年度 教育委員会自己点検・評価（総括表）

施策	施策に対応した主な事業	目標達成	評価	担当課	ページ
教育委員会の運営	①教育委員会会議の開催 ②教育課題の把握と提言 ③開かれた教育委員会の推進	○	②	教育総務課	12
人権意識をたかめ人権をまもりまします	①人権啓発の推進 ②人権擁護の推進	○	②	人権推進室	13
男女共同参画社会をつくりまします	①男女共同参画意識の啓発 ②人材育成の推進と推進体制の強化 ③性別による雇用格差解消の啓発 ④相談体制の充実	○	②	男女共同参画課	15
特色ある学校教育をおこないます	①時代に対応した教育の推進 ②子どもの読書活動環境の充実 ③悩みを抱えた子どもへの支援 ④教育施設の整備	◎	③	教育総務課 こども課 家庭教育室	17
子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します	①相談指導体制の充実 ②成長・発達支援教育の充実 ③就学援助の充実	◎	③	教育総務課 こども課 家庭教育室	19
地域とともに子どもたちの健やかな成長をささえます	①地域と連携した教育の推進 ②さまざまな体験活動への参加促進 ③青少年育成環境の充実	◎	②	教育総務課 こども課 家庭教育室	21
生涯学習を支援します	①学習機会の提供 ②図書館機能の充実 ③公民館活動の充実	◎	②	社会教育課 図書館	23
スポーツに親しめる環境と機会をつくりまします	①スポーツ活動の推進 ②スポーツ施設の整備	◎	②	スポーツ振興課 教育総務課	25
市民の芸術文化活動を支援します	①芸術文化に触れあう機会の提供 ②自主的活動の支援 ③拠点施設の整備 ④短歌を通じた芸術文化の発信	○	②	社会教育課	27
地域の歴史・文化をまもり活かします	①文化財の保護 ②文化財の整備 ③文化財の活用	◎	②	社会教育課 平出博物館	29
子育てと仕事の両立を支援します	①保育サービスの充実 ②保育園の整備 ③放課後児童対策の推進 ④就業環境の改善	○	②	こども課 教育総務課	31
悩みを抱える家庭を支援します	①子育てに適した生活環境の整備 ②児童虐待の防止 ③家庭教育の支援 ④基本的な生活習慣の定着支援 ⑤気がかりな児童への支援	◎	③	家庭教育室 教育総務課 こども課	33
市民公益活動を促進します	①協働事業の促進 ②市民公益活動の育成と支援	○	②	市民活動支援課	35
市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します	①役立つ情報の提供 ②意欲と活動の応援 ③協働による運営の推進	◎	②	図書館 総務課 市民活動支援課	37

※目標達成：◎順調に進んでいる ○概ね順調に進んでいる △取り組み方が遅い ▲未実施

※評価：①コストを抑制しながら成果を向上、②コストを維持しながら成果を向上、③コストをかけても成果を向上、④コストを抑制しながら成果を維持、⑤コスト成果ともに現状を維持、⑥必要なコストをかけ成果を維持、⑦内容を見直す



# 平成22年度 教育委員会自己点検・評価（個表）

## I 総合計画における施策の体系等

	教育委員会の運営	施策統括	こども教育部
		担当部課	教育総務課
現 状	教育行政をめぐる諸課題は、時代の変化の中で多様化、深刻化しており、課題への対応をする上で教育委員会の果たすべき役割は、その重要性を高めている。		

## II 施策の展開

### (1) 主な事業内容

主な事業	内 容
教育委員会会議の開催	●教育委員会の会議(定例会・臨時会)を開催
教育課題の把握と提言	●学校教育および社会教育の現場訪問および研修
開かれた教育委員会	●教育行政に関する情報の市民への公表

### (2) 22年度の主な事業内容

- ①教育委員会の定例会を毎月開催、臨時会および協議会を必要に応じ開催し、教育行政の諸施策についての基本方針、学校教育・社会教育の重要施策に関し審議し決定した。
- ②審議に当たっては、学校教育および社会教育の現場訪問を十分に行い、諸課題の内容の把握に努めるとともに、研修会などの機会を捉えて先進事例等の情報や知識の収集に努めた。
- ③開かれた教育行政運営のため、会議の開催状況や審議内容などにつき、市民への公表に努めた。

## III 22年度における施策の評価

### (1) 22年度における成果

- ①定例会12回、臨時会1回および協議会13回を開催し、審議した議事案件14件、報告案件52件、その他案件18件などであった。
- ②学校教育では、各小中学校への学校訪問、こんにちは教育委員会1校のほか、運動会、文化祭などの学校行事などに参加した。社会教育では、短歌フォーラム、市民芸術祭などの芸術文化事業や平出遺跡祭りなどの文化財を活用した事業、人権・男女共同参画の啓発イベント、スポーツイベントなどに参加し、生涯学習活動の成果と課題の把握に努めた。
- ③教育委員会会議等の傍聴者は少なかったが、ホームページ掲載による会議録の公表を行った。

### (2) 22年度における目標達成・評価

〈目標達成〉
概ね順調
〈評価〉
②コストを維持しながら成果を向上

#### (目標達成状況の理由)

教育委員会定例会・臨時会及び協議会を開催し、教育行政の基本方針や重要施策につき審議・決定を行った。審議にあたり、学校訪問ほか機会を見て視察等を行い、課題の把握に努めた。また、会議結果について、市ホームページに掲載を行ったほか、教育施策に関し広報紙等で市民への情報提供に努めた。

### (3) 教育委員の評価・意見

教育委員会の会議内容については、市民の皆さんに興味を持ってもらうのはなかなか難しい面がある。市が実施している教育施策について、市民の皆さんにわかりやすい形で情報発信し、提案や意見をいただき施策の改善に生かしていくことが必要である。教育委員自らが機会を捉えて現場に赴き、実態を把握し、市民の声を直接聞くことに努め、課題への理解を深めることにより、充実した協議ができるよう努めていきたい。



(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	人権学習会等への年間参加者数	人	1413	前期平均	2000	H26	1534
指標②	「生まれや育ちにより差別されない地域社会が形成されている」と思う人の割合	%	66.7	前期平均	75	H26	56.6

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	0				
	義務的的事业費	4,205				
	プロジェクト事業費	0				
	人件費	1,130				
	合計	5,335				
成果	指標①	1534	1920	1950	1970	2000
	指標②	56.6	70.02	71.68	73.34	75
CS調査	重要度	89.4%				
	満足度	56.6%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 47/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 7/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>概ね順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	目標値に達しなかったが、各地区課題となっている課題をテーマに学習会が実施され、人権推進の取り組みができた。				
	指標②	人権教育や地区学習会への参加者が一部に偏っていると同時に地域において参加者の増加が図れなかったため。				
今後の方針	時代に適応した魅力ある事業を実施することにより、人権尊重に対する意識の向上を図る。					

### IV 施策の展開戦略(総合計画期間内)

総合評価および教育委員の評価・意見			
1. 庁内総合評価			
戦略展開の方向性→	②コストは現状を維持しながら成果を向上させる	方向性の設定理由→	人権が尊重できる社会を目指し、今後現状のコストの中で事業の創意工夫により、さらに人権に対する意識が向上できるよう展開する。
2. 教育委員の評価・意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座や学習会への参加者に偏りが見られ参加者増加が難しい。広く一般市民に興味を持ってもらえるようなテーマを掲げ、身近な問題として人権学習ができるような工夫をすることにより、参加者の幅を広げるような取り組みが必要である。</li> <li>・学校人権教育と連携し、CAPプログラムなど児童生徒と保護者が参加する学校人権教育と連携するなど、横の連携により、人権学習の充実につとめることも有効な手段である。</li> <li>・市民が多数参加するたのイベントとのタイアップなどの工夫も必要である。</li> </ul>			

I 施策の体系等

基本政策	第1章 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる	施策統括課	男女共同参画課
政策	第1節 人を大切に作る心をはぐくむ	担当事業部	生涯学習部
施策	第2項 男女共同参画社会をつくりまします	施策コード	1-1-2
施策の趣旨	性別に関係なく誰もが公平に活躍できる社会の実現にむけて、市民の意識の啓発につとめるとともに、相談体制の充実をはかり、男女共同参画の浸透をはかります。		

II 施策のミッション・後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
市民	男女共同参画社会の実現
手段（何をを行うか）	
市民意識の現状把握、基本計画の推進、男女共同参画意識の啓発、人材育成の推進体制の強化	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩尻市男女共同参画基本計画に基づき、男女が人権を尊重し性差別のない真の男女平等社会の形成を目指し啓発に取り組んでだが、依然として社会の中に男女共同参画への意識改革が進んでいない現状がある。</li> <li>・継続的な啓発事業者や研修事業を実施し、意識向上を図るとともに、地域における女性役員の登用を更に推進していく。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 男女共同参画意識の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第三次男女共同参画基本計画に沿った事業の推進</li> <li>○イベント、講座、情報誌の充実</li> <li>○地域活動などへの男女共同参画の促進</li> </ul>	4 相談体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○女性相談の実施</li> </ul>
2 人材育成の推進と推進体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーダー育成</li> <li>○市民団体の活動支援</li> <li>○地域の活動における女性登用の推進</li> <li>○交流会の開催</li> </ul>	5	
3 性別による雇用格差解消の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男女雇用機会均等化に向けた懇談会やPRの実施</li> <li>○女性の再就職支援のための情報発信・啓発</li> </ul>	6	

(3) 22年度の主要事業	
1	第二次男女共同参画基本計画目標達成のため、男女共同参画意識啓発と人材育成の推進を図りました。
(1)	男女共同参画人材育成事業
	・男女共同参画推進交流会 6月19日開催 参加者数110人
	・広丘地区男女共同参画推進会議 8月30日開催 参加者数58人
	・やさしく女と男推進講座 9月16日開催 参加者数73人
	・女と男21世紀セミナー
	シンポジウム 11月13日開催 参加者数74人
	宗賀地区并戸端会議 11月18日開催 参加者数64人
	洗馬地区并戸端会議 11月24日開催 参加者数57人
(2)	男女共同参画啓発事業
	・豊かな心を育む市民の集い 7月3日開催 参加者数350人
	・男女共同参画推進企業セミナー 10月26日開催 参加者数82人
2	第三次男女共同参画基本計画の策定

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	審議会・委員会への女性委員登用率	%	32.3	H21	40	H26	33.1
指標②	男女共同参画社会研修会への年間参加者数	人	541	前期平均	800	H26	1800

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	0				
	義務的事業費	8,658				
	プロジェクト事業費	0				
	人件費	8,000				
	合計	16,658				
成果	指標①	33.1	35	36	38	40
	指標②	1800	650	700	750	800
CS調査	重要度	88.2%				
	満足度	52.9%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 49/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 9/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>概ね順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	政策・方針等決定過程への女性の参画に対する意識は、少しずつ高まってきている。				
	指標②	第三次塩尻市男女共同参画基本計画策定に向けた意識啓発及び、女性の参画促進のための研修会などを実施した。				
今後の方針	概ね順調に推移している中で、全体として各分野の事業の創意工夫を図ることにより更なる成果の向上を図る。					

### IV 施策の展開戦略(総合計画期間内)

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	②コストは現状を維持しながら成果を向上させる	方向性の設定理由⇒ 男女共同参画社会の推進を目指し、今後現状のコストの中で親しみやすく分かりやすい事業を創意工夫し理解がより深まるよう促す。
2. 教育委員の評価・意見		
<p>・市で設置する審議会や委員会等における女性の参画、企業での女性の活躍などは徐々に広がってきているが、特に地域においては男女共同参画が遅れている傾向がある。自治会で女性が活躍できる雰囲気作りなどは、まだまだ進んでいない現状が見られる。地域や家庭における男女共同参画の意識向上に向けた取り組むが必要である。</p>		

I 施策の体系等

基本政策	第1章 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる	施策統括課	教育総務課
政策	第2節 子どもたちの生きる力をはぐくむ	担当事業部	こども教育部
施策	第1項 特色ある学校教育をおこないます	施策コード	1-2-1
施策の趣旨	児童生徒の「生きる力」の育成や生涯にわたる学習の基礎を培うことをめざして、学校教育の充実と施設の整備をはかります。		

II 施策のミッション・後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を目的して）
児童生徒・教職員	児童生徒の「生きる力」の育成や生涯にわたる学習の基礎を培うこと
手段（何を行うか）	
学校教育の充実と施設の整備を図る	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが個性や能力を發揮し、自らの夢の実現に向けて意欲的に生きていくために、今日的な課題に対応したきめ細かな教育環境と「生きる力」の育成が重要となってきた。</li> <li>いじめ、不登校などが依然としてある。</li> <li>老朽化が進んだ教育施設・設備・備品等の教育環境整備については、年次計画により整備を進めている。</li> <li>国際理解教育や起業家教育等、新学習指導要領の前倒しや時代に対応した特色ある教育が定着しつつある。</li> <li>子どもの健やかな成長のためには読書活動が必要不可欠であり、今後も一層の推進を図っていく必要がある。</li> <li>学校施設の耐震化は、耐震診断を実施する中で推進していく。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 時代に対応した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な学習の充実</li> <li>○食育教育の推進</li> <li>○幼、保、小、中、高の連携事業の推進</li> <li>○ものづくり教育の推進</li> <li>○小学校からの外国語活動の推進</li> <li>○IT教育の推進</li> <li>○少人数学級、小集団学習、チームティーチングの推進</li> <li>○次代の親の育成</li> </ul>	4 教育施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校施設の計画的リニューアル</li> <li>○施設の耐震化の推進</li> <li>○学校給食の衛生管理の徹底</li> </ul>
2 子どもの読書活動環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭、地域、学校での読書活動の推進</li> <li>○読書の大切さをアピールするイベントの開催</li> </ul>	5	
3 悩みを抱えた子どもへの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○非行・いじめの相談窓口の充実</li> <li>○不登校・ひきこもりの相談窓口の充実</li> </ul>	6	

(3) 22年度の主要事業	
児童生徒の生きる力の育成や生涯にわたる学習の基礎を培うことを目指して、学校教育の充実と教育環境の改善を図りました。	
(1) 特色ある教育施策の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力の向上を目指した、全国学力・学習状況調査への参加</li> <li>・ICT活用教育、ものづくり教育(小1、中3校)、国際理解講師の配置、異文化交流体験事業</li> <li>・幼年教育研究会等による幼、保、小連携事業の推進</li> <li>・両小野小中一貫教育推進に向けた取り組み</li> <li>・百校給食の充実、地産地消の拡大等食育活動の推進</li> <li>・小人数、小集団活動、チームティーチングの推進(中学校1学年30人規模学級の導入検討、市費加配講師の配置)</li> </ul>	
(2) 教育施設の整備	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広丘小体育館建設(延べ面積1,712㎡)、両小野中音楽室改修工事</li> <li>・宗賀小リニューアル実施設計(内外装、トイレ改修、太陽光発電設備)</li> <li>・小中学校太陽光発電設備設置(小3、中1校)</li> <li>・小中学校耐震改修工事(小1、中1校)</li> </ul>	

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値 (H22)
指標①	学校図書館の1人あたり貸し出し冊数	冊	46.4	前期平均	55	H26	50.6
指標②	ものづくり教育の実施校数	校	1	H21	15	H26	4

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	18,325				
	義務的事業費	631,405				
	プロジェクト事業費	308,586				
	人件費	22,757				
	合計	981,073				
成果	指標①	50.6	51.7	52.8	53.9	55
	指標②	4	7	10	13	15
CS調査	重要度	95.3%				
	満足度	53.8%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 21/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 8/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」運動の推進による学校読書活動の充実、学校図書館の充実により概ね達成できた。				
	指標②	創意工夫を凝らし、ものをつくる体験的な学習の取り組みの推進が図られたもの。				
今後の方針	「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」運動を一層推進するとともに、「塩嶺体験学習の家」を活用した子ども達の体験学習活動の充実、きめ細かな学習指導と生徒指導を図るための中学校への30人規模学級の導入を重点的に進めていく。					

### IV 施策の展開戦略（総合計画期間内）

総合評価および教育委員の評価・意見	
1. 市内総合評価	
戦略展開の方向性⇒ <b>③コストをかけたも成果を向上させる</b>	方向性の設定理由⇒ 完全実施される小中学校の新学期指導要領に対応するとともに中学校への30人規模学級を段階的に導入し、個に応じたきめ細かな学習及び生徒指導を進める。
2. 教育委員の評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用教育の充実は大きな成果をあげている。さらに成果をあげるため、塩尻市教育センターで運営する「げんばねっと」の家庭学習への活用について保護者への周知を徹底するなど、学校と教育委員会の連携による取り組みが必要である。</li> <li>・食育推進にあたり自校給食の継続と充実は大事な取り組みである。</li> <li>・児童生徒の体力向上に向けて更なる取り組みが期待される。</li> <li>・中学校1年生への30人規模学級導入の成果が見られている。年次的な拡大が求められる。</li> </ul>	

I 施策の体系等

基本政策	第1章 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる	施策統括課	教育総務課
政策	第2節 子どもたちの生きる力をはぐくむ	担当事業部	こども教育部
施策	第2項 子どもたちの成長と発達を支援し学習機会を提供します	施策コード	1-2-2
施策の趣旨	すべての子どもたちの成長と発達を支援し、児童・生徒が自らの可能性を広げるための学習機会を得られるよう、それぞれの状況や成長段階に応じた教育と相談、就学の支援をおこないます。		

II 施策のミッション・後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
児童生徒・教職員	全ての児童生徒が自らの可能性を広げるための学習機会が得られること
手段（何をを行うか）	
それぞれの状況や成長段階に応じた教育と相談、就学支援を行う	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育センターと家庭教育室が連携を図り、保護者等の立場に立った相談体制づくりを進めてきた。</li> <li>・教育相談件数の増加をはじめとして、気がかりな児童生徒、就学援助対象者等が増加傾向にあるため、相談体制のさらなる充実を図る必要がある。</li> <li>・気がかりな児童・生徒の増加に伴い、特別支援教育の充実を図る必要がある。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 相談指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市教育センターにおける教育相談と学校指導</li> <li>○学校支援に係る専門職の配置</li> <li>○子どもが相談しやすい環境・体制の充実</li> </ul>	4	
2 成長・発達支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元気っ子応援事業の推進</li> <li>○支援、介助の加配教員の配置</li> <li>○学校不応児、生徒に対する中間教室等の充実</li> <li>○不登校の未然防止策の充実</li> <li>○特別支援教育の充実</li> <li>○個々に応じた相談・支援の実施</li> <li>○日本語学級の開設</li> <li>○個別支援保育の拡充</li> </ul>	5	
3 就学援助の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○私立幼稚園の運営と就園に対する支援</li> <li>○就学援助制度の活用</li> <li>○私立高等学校の施設、運営に対する支援</li> <li>○高校生、大学生等に対する奨学金貸与</li> </ul>	6	

(3) 22年度の主要事業	
児童生徒個々に応じた教育と相談、就学の支援を行いました。	
(1) 不登校ゼロ宣言実現に向けた相談指導体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援コーディネーターの配置による学校不応対策の充実</li> <li>・教育センター機能の拡大による相談支援体制の充実</li> </ul>	
(2) 成長・発達支援教育の充実	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気っ子応援事業の改善に努め、小1プロブレムの防止と健やかな成長発達を促進しました。</li> <li>・個別支援保育を全保育園に拡大し実地指導により支援内容を向上させ、個別記録を小学校の指導に活用しました。</li> </ul>	
(3) 相談体制の充実	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成長段階に応じた相談支援を実施するために、相談員研修を実施し資質の向上に努めました。</li> </ul>	
(4) 元気っ子応援事業の拡充と継続推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントサポート事業の開催により、保護者への支援を実施しました。（4回実施後フォローアップ1回）</li> <li>・SST（ソーシャルスキルトレーニング）の開催により、子どもの社会適応力を養いました。</li> <li>・事業の継続のため課題の検討をし、支援内容について保護者への周知に努めました。</li> </ul>	
(5) 特別支援教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援講師の配置校の拡大（11人を配置）</li> </ul>	

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	元気っ子応援事業個別支援保育の実施園数	園	9	H21	16	H26	16
指標②	小中学校への特別支援講師の配置人数	人	10	H21	15	H26	11

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	61,531				
	義務的事業費	94,016				
	プロジェクト事業費	0				
	人件費	12,656				
	合計	168,203				
成果	指標①	16	16	16	16	16
	指標②	11	12	13	14	15
CS調査	重要度	96.0%				
	満足度	49.2%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 14/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 19/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	園長会、園長代理会等で事業実施に向け、説明し、成果を確認する中で、順次拡大してきた。				
	指標②	特別支援講師を1名増員して配置した				
今後の方針	元気っ子応援事業の成果と課題を検証し、一層の推進を図るとともに、学校支援コーディネーター及び特別支援講師の継続的な配置による個に応じた相談・支援体制や教育センター機能の充実を図りながら学校不適応対策等を推進していく。					

### IV 施策の展開戦略(総合計画期間内)

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	③コストをかけても成果を向上させる	方向性の設定理由⇒ 学校支援コーディネーターは継続配置し、コストは現状維持しながら不登校等の未然防止を図っていくが、子ども達の個に応じた成長・発達支援教育をする必要があるため、特別支援講師及び介助員等の適正な配置を行っていく。
2. 教育委員の評価・意見		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校不適応対策は、学校支援コーディネーターの配置等により成果が上がっているが、配置されたスクールカウンセラーが現場で十分に活用されるような取り組みが必要である。</li> <li>・学校等におけるいじめの実態把握と対応については、未然防止に向けた早期の対応が重要である。</li> <li>・元気っ子応援事業は、塩尻市が誇る事業である。これまでの取り組みの成果と課題をふまえ、さらに充実した事業として推進されたい。事業を支えている相談員の資質向上について、引き続き取り組みを期待する。10歳までの事業が充実しているので、11歳以上の支援について充実を期待する。</li> <li>・奨学金制度については、利用しやすい制度への改正を早期に実現されたい。</li> </ul>		

I 施策の体系等

基本政策	第1章 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる	施策統括課	こども課
政策	第2節 子どもたちの生きる力をはぐくむ	担当事業部	こども教育部
施策	第3項 地域とともに子どもたちの健やかな成長をささえます	施策コード	1-2-3
施策の趣旨	児童・青少年が生活していくうえで必要な社会規範やルール、自主性などを身につけられる社会の実現をめざして、家庭、学校、地域など関係機関が連携をとり、子どもの健全育成活動の充実をはかります。		

II 施策のミッション ・ 後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
児童・青少年	子どもたちが生活していく上で必要な社会規範やルール、自主性などを身に付けられる社会の実現
手段（何をを行うか）	
家庭、学校、地域など関係機関が連携して、子どもの健全育成活動の充実を図る	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ぐるみで子ども達を育む意識が高まってきており、学校支援ボランティアへの登録者が増加傾向にある。</li> <li>・緊急防犯システムや地域見守りシステムの整備等、安心・安全面における環境整備を進めてきている。</li> <li>・安全・安心対策や環境整備等については、学校支援ボランティアの需要も高まってきており、地域ぐるみでの活動に期待する部分も大きい。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 地域と連携した教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校支援ボランティアの活用</li> <li>○学校評議員の活用</li> </ul>	4	
2 さまざまな体験活動への参加促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子ども会の育成援助、青少年の社会活動への参加促進</li> <li>○青少年の自然体験、ふれあい体験活動の支援</li> <li>○青少年の友好都市との交流事業促進</li> <li>○文化・芸術にふれる機会の支援・促進</li> </ul>	5	
3 青少年育成環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもを取り巻く有害環境防止策の推進</li> <li>○安心安全な環境づくりの推進</li> <li>○子どもの居場所づくり事業の推進</li> <li>○登下校時の安全確保</li> </ul>	6	

(3) 22年度の主要事業	
家庭、学校、地域等関係機関が連携を図り、子どもの健全育成活動の充実を図りました。	
(1) 塩嶺体験学習の家の開設及び運営	
・児童・生徒、青少年が、集団宿泊活動や体験学習を通じ、「生きる力」を育み生活規律や社会規範を習得することができる施設として整備、運営しました。	
・施設改修工事 14,169千円（内外装、上下水道、電気設備等）	
・開所 7月4日	
・利用者 宿泊663人 日帰り536人	
(2) 登下校時の安全確保	
・地域見守りシステムの安定的運用 利用者数507人	
(3) 青少年育成環境の充実	
・市民（団体）が開設するプレーパーク（冒険遊び場）を支援し、季節開催から月次開催に拡大しました。	
・地区役員と協働しながら有害自販機の監視を推進し休止販売機6台を撤去するなど環境浄化を図りました。	
・放課後等の居場所づくりでは、登録児童数が229人(125.8%)へと拡大しました。	

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	子育てサポーター認定者数	人	50	H21	125	H26	66
指標②	学校支援ボランティアの登録者数	人	350	前期平均	720	H26	617

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	8,917				
	義務的事業費	49,510				
	プロジェクト事業費	14,380				
	人件費	2,640				
	合計	75,447				
成果	指標①	66	81	96	111	125
	指標②	617	643	669	695	720
CS調査	重要度	95.8%				
	満足度	51.6%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 16/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 13/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	22年度新規認定者に加え、過年度の認定者の調査及び更新認定を行なった。(数値は累計認定者数)				
	指標②	前期平均を350人としたが、H21以降の不審者事案の急増により、見守りに係るボランティア登録者が増加したものの				
今後の方針	<b>学校評議員や学校支援ボランティアを活用し、安全で地域に開かれた学校づくりを推進するとともに、地域の協力会と連携した「塩嶺体験学習の家」における宿泊活動や体験学習を通じ、青少年の自主性や社会規範の育成を図っていく。</b>					

### IV 施策の展開戦略(総合計画期間内)

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	<b>②コストは現状を維持しながら成果を向上させる</b>	方向性の設定理由⇒ <b>学校支援ボランティアの有効活用や地域見守りシステムの効果的な運用を行い、子ども達にとって安心して安全な地域づくりを進めるとともに、子ども達の自主性や社会規範の育成を図るため、地域の持つ教育力を学校運営や学校教育に取り込み、反映させていく。</b>
2. 教育委員の評価・意見		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩嶺体験学習の家の設置により、体験学習環境の充実が図られた。利用状況も好調であるので、引き続き施設のPRに努められたい。体験メニューの充実などにより、体験学習による子どもたちの生きる力の育成が期待できる。短期の宿泊活動により生活規律を定着させることについては、難しさや課題もあるので効果的な実施内容について検討されたい。一例として、親子での体験活動を家庭教育の向上につなげる視点での活動メニューの充実が有効と考える。また、周辺のスポーツ施設等との連携などにより、屋外活動を通じた体力向上の取組みにも生かしてほしい。</li> <li>・こどもの居場所づくりについては、児童クラブの利用について、小学校高学年の利用希望の声を聞く。利用範囲の拡大について可能であれば検討されたい。</li> </ul>		

I 施策の体系等

基本政策	第1章 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる	施策統括課	社会教育課
政策	第3節 生涯にわたる生きがいをはぐくむ	担当事業部	生涯学習部
施策	第1項 生涯学習を支援します	施策コード	1-3-1
施策の趣旨	生涯学習を通して、市民が生きがいをもって豊かに生活できるよう、公民館、図書館等の社会教育施設を生涯学習の拠点として、多くの市民が気軽に利用できる学習環境の整備につとめます。		

II 施策のミッション ・ 後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
市民	生涯学習を通して、市民が生きがいをもって豊かに生活できること
手段（何をを行うか）	
公民館、図書館等の社会教育施設を生涯学習の拠点として、多くの市民が気軽に利用できるような学習環境の整備	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化、余暇時間の増大を背景に、生涯学習に対するニーズは多様化し、市民の創造的活動が活発化している。今後も市民の学習意欲の向上を図る必要がある。</li> <li>・新しく開館した図書館の運営方針を広く市民に周知し、貸本に留まらない多様な利用方法を啓発していく必要がある。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 学習機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生涯学習推進プランの推進</li> <li>○生涯学習の推進体制の整備</li> <li>○生涯学習ボランティアなどの育成、支援</li> <li>○市民参加型生涯学習の推進</li> </ul>	4	
2 図書館機能の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多機能型図書館運営の充実</li> <li>○学校図書館との連携強化</li> <li>○図書館ボランティア、関係団体等の活動支援</li> </ul>	5	
3 公民館活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域文化事業の活性化支援</li> <li>○地域指導者等の育成、支援</li> <li>○地域関係団体との連携</li> <li>○公民館の新・増改築の補助</li> </ul>	6	

(3) 22年度の主要事業
<p>生涯学習推進プランⅡの推進を図り、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる生涯学習環境の充実に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進プランⅡ後期推進計画の策定作業を実施しました。</li> <li>・冒険遊び場への支援と指導者育成として自然体験教室を開催しました。8回の開催で、延97人が参加</li> <li>・「学びの道、小さな旅」を開催「古刹巡り」「モノ作りの現場」「秋の高ボッチ」の3回で延76人が参加</li> <li>・図書館の移転に伴い、総合文化センター3階に学習室を設けるなど、利用者への利便性向上に努めました。</li> </ul> <p>図書館機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新図書館のPRに努め、新館における新規登録者は前年度の6.5倍の5,548人となりました。</li> <li>・信州大学附属図書館との連携に努め、あらたに貸出資料の連携サービスを開始しました。</li> <li>・創業70周年を迎えた筑摩書房と連携した記念イベントを開催し、延べ200人余の参加者を得ました。</li> <li>・図書館ボランティアの活動を促し、返本、資料整備等、市民との協働が図られました。</li> <li>・国民読書年として、毎月のテーマブックス展示、えんば一くまつり、各種イベントを積極的に行いました。</li> </ul> <p>イベント参加者は、延べ本館2,878人、分館2,175、合計5,053人。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中・高校の学校図書館との連携を密にし、調べ学習の受入れ、学校に出向いての図書館講座等を行いました。</li> </ul>

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	図書館の来館者数	万人	-	-	20	H26	30
指標②	中央・地区公民館、図書館等の学級講座等の年間参加者数	人	11,371	前期平均	12000	H26	15049

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	0				
	義務的事業費	169,149				
	プロジェクト事業費	219,738				
	人件費	46,843				
	合計	435,730				
成果	指標①	30	20	20	20	20
	指標②	15049	11630	11750	11850	12000
CS調査	重要度	88.1%				
	満足度	72.0%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 51/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 2/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	市内はもとより、多くの市外在住者の利用をいただいている。				
	指標②	H22目標は達成できた。市民の学習意欲は向上している。				
今後の方針	平成22年度に新図書館、高出地区センター（高出公民館）が完成しており、他の施設と併せ、その有効活用を目指す。					

### IV 施策の展開戦略（総合計画期間内）

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	②コストは現状を維持しながら成果を向上させる	方向性の設定理由⇒ 新施設（えんぱーく、高出地区センター、総合文化センターのリニューアル施設等）も有効活用し、市民の生涯学習を効果的に支援する方法を検討したい。
2. 教育委員の評価・意見		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習に対する市民の意欲は高まっており、学習機会の提供に対する需要が増加している現状をふまえ、多様化するニーズに応える学習支援の充実に努められたい。また、市民の生涯学習活動が公益的な活動に発展し、協働のまちづくりの推進が図られるよう、新しい時代の要請に応えられるようなテーマの講座開催などに期待する。</li> <li>・新市立図書館の開館により、市民のニーズに応えられる図書館施設の整備が図られた。蔵書の充実やサービスの向上により、市民の文化活動の拠点施設として機能するとともに、市内の他の文化施設との連携にも力を入れ、相乗的な効果が上がるよう期待する。</li> <li>・市民の読書活動推進に向け、その基礎となる子ども達の読書活動を支援するため、学校図書館との連携強化が期待される。学校図書館の機能充実に向け図書館システムの導入も検討されたい。</li> </ul>		

I 施策の体系等

基本政策	第1章 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる	施策統括課	スポーツ振興課
政策	第3節 生涯にわたる生きがいをはぐくむ	担当事業部	生涯学習部
施策	第2項 スポーツに親しめる環境と機会をつくります	施策コード	1-3-2
施策の趣旨	生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活をおくることができるよう、市民みな1スポーツの推進をはかるとともに、施設整備の充実をはかります。		

II 施策のミッション ・ 後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
市民	生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ること
手段（何をを行うか）	
市民みな1スポーツの推進をはかるとともに、施設整備の充実をはかる	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老朽化によるスポーツ施設が多いので、今後も計画的に改修を進めていくことが必要である。</li> <li>・ 子どもから高齢者まで幅広い市民に気軽に楽しめる機会を提供する必要がある。</li> <li>・ 個々の体力や生活スタイルにあった健康体力づくり教室等の開催に努め、2つ目の総合型地域スポーツクラブ発足に向けての研究に努める必要がある。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1	スポーツ活動の推進 ○スポーツイベント、スポーツ教室の開催 ○指導者等の育成、支援 ○スポーツ関係団体等への支援と連携 ○市民みな1スポーツの推進による健康体力づくりの支援 ○総合型地域スポーツクラブ活動の促進	4	
2	スポーツ施設の整備 ○老朽スポーツ施設の改修 ○多目的スポーツ施設の整備 ○学校スポーツ施設の改修	5	
3		6	

(3) 22年度の主要事業	
・生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で明るい生活を送ることができるよう市民みな1スポーツの推進を図るとともに健康体力づくりの支援と施設整備工事を実施しました。	
1 市民スポーツ振興事業	
(1) 第2回塩尻ぶどうの郷ロードレースの開催	2,017人
(2) 各種スポーツイベント等の開催	ファミリースポレク 1,700人      スポーツふれあいデー 230人 小中学生陸上記録会 340人      市民水泳競技大会 130人
(3) 健康&スポーツコラボ事業（市民健康体力づくり教室）の開催	17回 延528人
2 体育施設整備事業	
(1) 洗馬小学校グラウンド照明改修工事の実施	
(2) 中央スポーツ公園ちびっ子広場遊具改修工事の実施	

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	週1回以上スポーツ活動に親しむ成人の割合	%	30.0	H21	50	H26	32.7
指標②							

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	0				
	義務的事業費	86,855				
	プロジェクト事業費	9,460				
	人件費	24,338				
	合計	120,653				
成果	指標①	32.7	35	40	45	50
	指標②					
CS調査	重要度	83.2%				
	満足度	44.5%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 63/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 24/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	個人の健康体づくり指向が高まってきているため。				
	指標②					
今後の方針	健康志向が高まるなか、魅力が持てる各種教室等を開催し、老朽化した施設の維持管理及び施設の充実を図っていく。					

### IV 施策の展開戦略（総合計画期間内）

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	②コストは現状を維持しながら成果を向上させる	方向性の設定理由⇒ 健康志向の高まりにより、各種教室を開催し、運動する人とならない人の二極化の解消を目指すとともに、老朽施設の改修及び施設の充実を図って行きたい。
2. 教育委員の評価・意見		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに触れ合うイベントを通じ、子どもから高齢者まで幅広い世代でスポーツを楽しむ機運を高めてほしい。気軽にでき楽しめるニュースポーツの普及が有効であり、さらに取り組みを進めてほしい。</li> <li>・市民の幅広い世代が、運動に気軽に取り組めるような雰囲気づくりと環境整備に引き続き取り組むことが必要である。</li> <li>・家庭で気軽に取り組めるスポーツの紹介と成果を発表する機会を設けるなど、運動不足の人たちを対象にした啓発を進めるべきである。</li> <li>・地域のスポーツ振興を図る上で学校施設の開放・利活用が有効であるので、引き続き取り組みを進めてほしい。</li> </ul>		

I 施策の体系等

基本政策	第1章 豊かな心をはぐくむ教育文化のまちをともにつくる	施策統括課	社会教育課
政策	第4節 かおり高い文化をはぐくむ	担当事業部	生涯学習部
施策	第1項 市民の芸術文化活動を支援します	施策コード	1-4-1
施策の趣旨	芸術文化にふれる機会の提供や自主的な芸術文化活動の支援、拠点施設の整備等を通して、豊かでうまいのある芸術文化の振興をはかります		

II 施策のミッション ・ 後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
市民	市民芸術文化活動の活性化
手段（何をを行うか）	
文化資源の活用や文化活動に参加できる機会を提供し、拠点施設の活用を図る	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の文化芸術活動の高まりとともに市民の自発的、創造的な活動が一層活発化するよう支援する必要がある。</li> <li>各文化施設の整備と適切な管理運営に努め、より使いやすい施設となるよう工夫を続ける必要がある。</li> <li>市民の芸術文化活動の拠点である芸術文化振興協会の円滑な運営を引き続き、支援する必要がある。</li> <li>市民ニーズに即した文化会館の芸術文化鑑賞事業等の実施を検討する必要がある。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1	芸術文化に触れあう機会の提供	4	短歌を通じた芸術文化の発信
	○市民ニーズを活かした芸術文化事業の開催		○短歌フォーラムの開催 ○短歌館、歌碑公園などの芸術文化施設の活用
2	自主的活動の支援	5	
	○芸術文化活動の育成・支援		
3	拠点施設の整備	6	
	○文化会館(レザンホール)の改修		

(3) 22年度の主要事業	
市民の芸術活動や文化活動などの自主活動を支援するとともに、短歌を通じた日本語の素晴らしさを全国発信しました。	
・塩尻市芸術文化振興協会と連携した芸術文化事業の推進を行いました。	
「市民演劇フェスティバル」「市民芸術祭」「市民音楽祭」「市民文化祭」「市民コーラス祭」	
「市民洋楽舞踊フェスティバル」「早春のつどい」の7事業を開催しました。	
・次世代の芸術文化を担う青少年育成のための芸術文化研修事業として、プロドラマーによるリズムクリニックを4回開催し、延べ94人が参加しました。	
・文化会館の次期指定管理の検討及び利用者サービス向上のための管理運営の見直しを行いました。	
・第24回全国短歌フォーラムin塩尻を開催しました。	
10月3日に開催、投稿歌数3,341首、投稿者数1,798人、フォーラム参加人数713人	
学生の部を11月27日開催、投稿歌数7,331首、投稿者数7,331人、投稿学校数94校	

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	市主催芸術文化事業への来場者数	人	23,350	前期平均	25000	H26	25100
指標②	塩尻市芸術文化振興協会加入者数	人	3,935	前期平均	4100	H26	3901

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	0				
	義務的事業費	173,058				
	プロジェクト事業費	0				
	人件費	0				
	合計	173,058				
成果	指標①	25100	23760	24170	24580	25000
	指標②	3901	4020	4040	4060	4100
CS調査	重要度	82.7%				
	満足度	47.0%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 65/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 21/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>概ね順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	事業内容を見直し、実演・体験コーナーの設置やチャリティーバザー、スタンプラリー等を実施し市民参加を促した。				
	指標②	設立から4年が経過し、市民認知度も増してきているため、目標には及ばないが加入者数は増加している。				
今後の方針	市民ニーズに即した魅力ある事業を目指し、実施内容の検討をすることにより、一層の市民参加を促す。					

### IV 施策の展開戦略(総合計画期間内)

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	②コストは現状を維持しながら成果を向上させる	方向性の設定理由⇒ 芸術文化の振興を図ることを目的に、拠点施設の整備や現状コストの中で事業内容を見直すなど、市民ニーズに即した事業を展開したい。
2. 教育委員の評価・意見		
<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の芸術文化の裾野が広がりを見せている。活動の成果を発表する機会は意欲の向上につながるので、引き続き取り組みを進めてほしい。</li> <li>全国短歌フォーラムの継続により、短歌活動が市民に広がっている。特に高校生の参加意欲の高まりが見られているので、市内に留まらず近隣の高校等にも呼びかけ、成果を広げて行ってほしい。また、子ども達が一流の歌人の指導を受ける企画は、とても効果があるので引き続き取り組んでほしい。</li> <li>若い世代に文化的な意識を浸透させていくことが課題である。子どもと高齢者の交流による芸術文化の催しなどを通して、子育て世代の参加を促すことが一つの手段である。</li> </ul>		



(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	博物館施設の入場者数	人	57,434	前期平均	69000	H26	61777
指標②	重要伝統的建造物群保存地区の延べ修理・修景実施数	件	7	H21	42	H26	14

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	0				
	義務的事業費	79,634				
	プロジェクト事業費	84,933				
	人件費	9,193				
	合計	173,760				
成果	指標①	61777	60300	63100	66000	69000
	指標②	14	21	28	35	42
CS調査	重要度	82.2%				
	満足度	50.1%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 66/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 15/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	9館の中では増減が見られるが、全体としては事業の創意工夫を図る中で入場者の確保を図った。				
	指標②	事業内容の周知徹底が図ることができ、優先順位など市民との協議が円滑になされ、平準化した事業量となったため。				
今後の方針	概ね順調に推移している中で、全体として各分野の事業の創意工夫を図ることにより更なる成果の向上を図る。					

### IV 施策の展開戦略（総合計画期間内）

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	②コストは現状を維持しながら成果を向上させる	方向性の設定理由⇒ 貴重な文化遺産の保存・活用を図ることを目的に、今後現状のコストの中で事業の創意工夫により、さらなる成果をあげる方策を検討する。
2. 教育委員の評価・意見		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内には多くの価値ある文化資産があり、市民の認知度を高め学習活動に生かされることが期待される。そのために、文化財の利活用の検討や講座などのさらなる開催により、市民の関心を高めてほしい。</li> <li>・奈良井宿などを中心に観光とタイアップした文化財の活用の効果が上がっている。市内の文化財や文化施設への動線をつくることにより波及効果が期待される。地域よいとこめぐりなど各地区の企画をつなげる取り組みにも期待する。</li> <li>・平出博物館と平出遺跡公園の活用については、比叡の山など周辺環境の活用も含めて検討されたい。</li> </ul>		

I 施策の体系等

基本政策	第2章 安心して暮らせる福祉のまちをともにつくる	施策統括課	こども課
政策	第2節 安心して生み育てられる環境をつくる	担当事業部	こども教育部
施策	第2項 子育てと仕事の両立を支援します	施策コード	2-2-2
施策の趣旨	働きながら子どもを育てている人が、安心して社会活動のできる環境づくりをめざして、保育の充実による就労と育児の両立支援をおこないます。また、多様な保育ニーズに対応できるよう、保育内容のさらなる充実につとめます。		

II 施策のミッション ・ 後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
働きながら子育てしている人	安心して社会活動のできる環境づくり
手段（何をを行うか）	
保育の充実による就労と育児の両立支援をおこなうとともに多様な保育ニーズに対応できるよう、保育内容の充実につとめる	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもを育てながら仕事を継続している者にとって、次代の社会を担う子どもを安心して生み、育てることができる環境の整備が不十分であり、子育てを支援する環境を計画的に整えていくことが求められている。</li> <li>市立保育園等施設整備計画の見直しを図り、保育園及び児童館の整備を推進する必要がある。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 保育サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別保育事業の充実</li> <li>○病児・病後児保育事業の運営</li> <li>○子育て支援ショートステイ事業の運営</li> <li>○自由保育所への運営補助</li> <li>○児童の健康管理と食育の推進</li> </ul>	4 就業環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業主行動計画の策定促進</li> <li>○子育てへの理解・協力意識の醸成</li> </ul>
2 保育園の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○老朽保育園の改築</li> <li>○小規模保育園の統廃合</li> </ul>	5	
3 放課後児童対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童館・児童クラブ事業の充実</li> <li>○児童館の整備</li> </ul>	6	

(3) 22年度の主要事業	
安心して仕事をしながら子育てができる家庭や地域、企業などの環境整備に努めました。	
(1) 保育サービスの充実	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気っ子応援事業に伴う個別支援保育の実践を通じて、児童に対する保育士の指導力等が向上しています。</li> <li>・特別保育事業は、担当医師の退職に伴い病児・病後児保育等が延べ47人の利用にとどまりました。</li> <li>・新たに2か所で社会福祉法人営の保育園設置が決定し、保育事業が適正に推進されるよう調整を進めました。</li> <li>・片丘南部保育園を片丘(北部)保育園に統合し、集団生活の中で児童の社会性の育成などに努めました。</li> </ul>	
(2) 放課後児童対策の充実	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館は、施設開放のほか未就園親子の講座を開設し子育て家庭の交流機会を拡大しました。</li> <li>・児童クラブは、家庭の状況に合わせた受入れに努め、登録児童数542人、延べ利用児童数68,258人となりました。</li> </ul>	
(3) 保育園の整備	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広丘東保育園建設工事 229,686千円(定員170人、延べ面積1,314㎡)</li> <li>新築に伴い定員規模を170人に拡大するとともに、一時的保育事業を新設し地域の子育て支援を拡充しました。</li> <li>・榎川保育園建設実施設計 5,745千円(定員40人、延べ面積500㎡)</li> </ul>	

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	保育事業における両立支援体制の充実度	%	29.4	H20	75	H26	44.7
指標②	一般事業主行動計画策定率(従業員101人以上)	%	57	H21	100	H26	52.9

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	5,460				
	義務的事業費	234,717				
	プロジェクト事業費	378,903				
	人件費	197,833				
	合計	816,913				
成果	指標①	44.7	—	—	—	75
	指標②	52.9	74.2	82.8	91.4	100
CS調査	重要度	96.7%				
	満足度	37.5%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 11/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 34/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>概ね順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	長時間保育や一時保育、休日保育等を実施し、特別保育事業の充実を図ってきた。				
	指標②	「一般事業主行動計画」の策定を促進するためアンケートを実施するなど行動計画策定への啓蒙を図り、概ね達成できた。				
今後の方針	就労状況に柔軟に対応するため「利用しやすさ」を改善し、児童福祉施設計画に基づく保育園統廃合と老朽園の改築、児童館整備等を推進する。また、事業主の支援は、仕事と育児の両立には欠かせない対策であり、行動計画の策定とその推進を働きかけていく。					

### IV 施策の展開戦略(総合計画期間内)

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	②コストは現状を維持しながら成果を向上させる	方向性の設定理由⇒ 保育園の統廃合及び給食調理業務の民間委託を拡大しながら、施設整備をはじめ要個別支援児童や特別保育事業を担当する保育士の拡充などを通じて支援を拡充していく。
2. 教育委員の評価・意見		
<ul style="list-style-type: none"> <li>元気っ子応援事業を通じた個別支援保育などにより保育士の資質向上が図られている。また、特別保育事業の充実等による保育サービスの向上が評価できる。</li> <li>保育サービスの向上は、保育士の質が大きな要素を占める。優秀な人材が継続して働けるような条件整備により、さらに人材の確保に努めてほしい。</li> <li>子育て支援の充実にあたっては、子育ての経験や知識が豊富な世代の人材登用が有効である。</li> </ul>		

I 施策の体系等

基本政策	第2章 安心して暮らせる福祉のまちをともにつくる	施策統括課	家庭教育室
政策	第2節 安心して生み育てられる環境をつくる	担当事業部	こども教育部
施策	第3項 悩みを抱える家庭を支援します	施策コード	2-2-3
施策の趣旨	子どもの教育やしつけに関するさまざまな不安や悩みを解消し、親が安心して子育てができるよう、個別の事情に応じたサービスを提供するとともに、家庭機能の充実にむけた支援につとめます。		

II 施策のミッション ・ 後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
子育て中の家庭	子どもの教育やしつけ等に関する様々な不安や悩みの解消
手段（何をを行うか）	
個別の事情に対応した専門的なサービスや相談支援を行う	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化や共働きなどの社会情勢にもとで、子育てに悩みを抱えている親が増えている。</li> <li>・幼少期の家庭教育や学習は、子どもの成長に与える影響は多大であるため、個別の状況にあわせた適切な支援を行う必要がある。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 子育てに適した生活環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○同じ悩みを持つ人同士の活動支援</li> <li>○地域住民による支え合い見守り活動の促進</li> </ul>	4 基本的な生活習慣の定着支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動の推進</li> <li>○基本的な生活習慣を育む家庭づくりへの支援</li> </ul>
2 児童虐待の防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要保護児童対策地域協議会運営の充実</li> <li>○児童保護のための関係機関との連携</li> <li>○相談員等の専門性を活かした相談窓口の充実</li> </ul>	5 気がかりな児童への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害児保育事業の充実</li> <li>○相談助言事業の充実</li> <li>○保育園・幼稚園における障害児保育の推進</li> <li>○療育の支援</li> <li>○個別教育支援計画による継続支援</li> <li>○教育相談・進路相談・就学指導の充実</li> </ul>
3 家庭教育の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児や教育に不安や悩みをかかえた親への支援</li> <li>○保育等の専門性を活かした親への支援</li> </ul>	6	

(3) 22年度の主要事業	
子どもの教育やしつけに関するさまざまな悩みや負担を解消し親が安心して子育てができるよう家庭機能の充実にむけた支援につとめました。	
(1) 基本的な生活習慣の定着支援	
・「早ね早おき朝ごはん・どくしょ」市民運動の新事業として、「塩竈体験学習の家」を使用しての合宿を試行的に実施しました。(8/3.4)	
(2) 子育て相談・支援事業	
・未就園児と保護者へ、地域に根ざした子育て支援を実施しました。えんぼーく・北部子育て支援センターは、33,514人の多数の利用がありました。出前型の支援を115件実施し、きめ細やかな支援を実施しています。	
・電話やメール、面接等により、個別の相談対応を実施しました。	
(3) 児童虐待の防止	
・要保護児童対策地域協議会運営の充実	
児童虐待等に速やかに対応し、関係機関が連携し児童虐待防止に努めました。要保護児童対策地域協議会（1回）実務担当者会議（4回）個別ケース検討会議（58回）開催しました。	

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	子育て講座への年間参加者数	人	973	前期平均	1500	H26	1289
指標②	児童虐待防止啓発事業への年間参加者数	人	464	前期平均	1000	H26	623

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	2,637				
	義務的事業費	72,743				
	プロジェクト事業費	0				
	人件費	68,214				
	合計	143,594				
成果	指標①	1289	1342	1395	1448	1500
	指標②	623	718	813	908	1000
CS調査	重要度	95.7%				
	満足度	33.2%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 17/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 41/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	早ね早おき朝ごはん・どくしょ講演会の開催や、各地区ごとの子育て講座、ペアレントサポート講座などを積極的に開催した				
	指標②	CAP研修の実施。主任児童委員研修の実施。公民館人権学習会へ参加。他に塩尻駅・広丘駅で虐待防止パンフレットを配布。				
今後の方針	啓発活動・講演会等を継続して実施し、事業の推進を図るとともに、個別の状況に対応する専門的な相談・支援を実施する人材育成に努めていく。					

### IV 施策の展開戦略(総合計画期間内)

総合評価および教育委員の評価・意見			
1. 庁内総合評価			
戦略展開の方向性⇒	③コストをかけても成果を向上させる	方向性の設定理由⇒	子育て全般に関する啓発活動を継続し、子育て世代を中心とした市民の意識の向上とともに相談窓口の充実を図り、個別の事例に応じた的確な対応を早期に進める。
2. 教育委員の評価・意見			
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代に対する相談助言や支援体制の充実が図られており評価できる。子育て支援センターの利用者が増えているので、引き続き利用者への支援や相談対応などについて、連携強化による成果を期待する。</li> <li>保護者から寄せられるさまざまな相談や要望は、さまざまな要因による悩みを背景にしたものである。引き続き、市民の立場に立ったぬくもりのある対応に努められたい。</li> <li>早ね早おき朝ごはん・どくしょ講演会の講師の選定は毎年好評である。市民運動の定着に向けて、市民に対するPR活動に引き続き力を入れてほしい。</li> </ul>			

I 施策の体系等

基本政策	第6章 自立と自治の市民社会をともにつくる	施策統括課	市民活動支援課
政策	第1節 市民の主体的な活動をひるげる	担当事業部	市民交流センター
施策	第3項 市民公益活動を促進します	施策コード	6-1-3
施策の趣旨	身近な課題を自らの手で解決することのできる地域社会をめざして、市民の自主的な活動参加に配慮しながら、市民活動の主体性喚起と活動活性化のための支援体制づくりをすすめます。		

II 施策のミッション ・ 後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を目標して）
市民	身近な課題を自らの手で解決できる地域社会
手段（何をを行うか）	
市民の主体性を大切にしながら、市民活動の場の提供や活動の支援を行う	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民主体の塩尻らしいまちづくりの仕組みを創造することが求められている。</li> <li>・行政と民間のさまざまな主体が連携、協働して地域課題を解決していく必要がある。</li> <li>・地道に実績を積み重ね、一般市民の理解と参加を広げていく必要がある。</li> </ul>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 協働事業の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民公益活動団体の育成と支援</li> <li>○行政情報の開示と連携</li> <li>○協働のまちづくり基金の造成と活用</li> <li>○「協働コーディネーター」の育成</li> </ul>	4	
2 市民公益活動の育成と支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○行政・企業・NPO法人等とのネットワーク形成</li> <li>○提案公募事業推進による市民活動の支援</li> <li>○協働のまちづくり推進委員会の運営</li> </ul>	5	
3		6	

(3) 22年度の主要事業	
(1) 協働事業の促進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民交流センターの市民サポート組織（えんばーくらぶ）と開館記念事業、えんばーくまつり、えんばーくクリスマスなどの協働事業を実施しました。</li> <li>・人材育成講座の開催、市内29の市民活動団体の情報収集と発信など市民活動支援業務（協働コーディネート）を市民活動団体に委託しました。</li> </ul>	
(2) 市民公益活動の育成と支援	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働のまちづくり提案公募事業として、公開選考会で採択された福祉、環境、地域おこし、観光などをテーマとした10団体、10事業に対し補助金を交付しました。</li> </ul>	

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	提案公募事業の年間提案件数	件	11	H21	15	H26	10
指標②	サポート活動に関する満足度	%	-	-	70	H26	50

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	0				
	義務的事業費	2,963				
	プロジェクト事業費	0				
	人件費	2,462				
	合計	5,425				
成果	指標①	10	12	13	14	15
	指標②	50	55	60	65	70
CS調査	重要度	88.1%				
	満足度	25.4%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 50/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 54/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>概ね順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	10事業申請、10件採択した。				
	指標②	えんぱーくらぶの自主事業、サポート事業並びにグループ活動を支援した。支援件数は50回以上。				
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民団体の自主的、主体的な事業提案を大切にし、地域の課題解決・発展のために相談等の支援をする。</li> <li>えんぱーくらぶの自主性、自立性に向けてマネジメント向上のための支援を行う。</li> </ul>					

### IV 施策目標の実現手段の評価 (H22に実施した予算事業の評価)

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の方向性⇒	②コストは現状を維持しながら成果を向上させる	方向性の設定理由⇒ 協働のまちづくりを推進し、主体的な市民活動団体を支援することにより、地域の身近な課題を自ら解決する担い手を育成するため。
2. 教育委員の評価・意見		
・市民交流センターの整備が市民参画により進められた意義は大きい。整備された市民交流センターを拠点として市民活動支援がさらに進むことが期待される。		

I 施策の体系等

基本政策	第6章 自立と自治の市民社会をともにつくる	施策統括課	図書館総務課
政策	第1節 市民の主体的な活動をひろげる	担当事業部	市民交流センター
施策	第4項 市民交流センターを活用した交流と人づくりの場を提供します	施策コード	6-1-4
施策の趣旨	市民の主体的な活動をひろげるために、複合施設である市民交流センターの情報蓄積・レファレンス・中間支援等の諸機能を活用し、あらゆる分野の交流・人づくりを促進します。		

II 施策のミッション・後期基本計画の事業内容

(1) 施策ミッション (H22~26)	
対象（誰のために）	意図（何を指して）
市民、市外からの利用者、企業等	市民の主体的な活動をひろげること
手段（何をを行うか）	
市民交流センターの情報・レファレンス機能・中間支援機能等を活用し、あらゆる分野の交流・人づくりをおこなう	
現状の問題点・対応が必要な課題	
<p>・平成22年に図書館を核とする複合施設「市民交流センター」が開設された。          ・知の交流と人づくりを目的としたこの施設の機能を十分に活用し、市民や企業の問題解決力を高めること、多様な市民活動の拠点となることが期待されている。</p>	

(2) 総合計画に記載された計画事業			
主な事業	事業内容	主な事業	事業内容
1 役立つ情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題解決に役立つ情報収集・情報検索の支援</li> <li>○視野を広げる様々な情報の提供</li> <li>○「市民ポータルサイト」の運営支援</li> </ul>	4	
2 意欲と活動の応援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民の多様な活動への支援</li> <li>○分野を超えた連携によるサービス、コンテンツの開発・提供</li> <li>○サポート組織の運営支援</li> </ul>	5	
3 協働による運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○効果的・効率的な運営管理</li> <li>○市民提案事業の仕組みづくり</li> <li>○市民運営への移行方法の研究と段階的移行</li> </ul>	6	

(3) 22年度の主要事業	
(1) 役立つ情報の提供	市民の課題解決に役立つ情報の収集やレファレンスサービスを積極的に行い、市民一人当たりの貸出冊数が8.3冊と、県内19市中第1位となりました。
(2) 意欲と活動の応援	サポート組織（えんぱーくらぶ）の運営を支援しました。
(3) 協働による運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、広報等により市民の関心を高め、賑わいを生み出す市民交流センターを7月29日に開館しました。</li> <li>・より多くの市民に活用される施設を目指し、41万人の来館がありました。</li> <li>・庁内各部署、関係機関、団体等との連携を深め、横断的な事業運営を進めています。</li> </ul>

(4) 指標							
	指標名	単位	基準値	基準値年次	目標値	目標値年次	実績値(H22)
指標①	図書館でのレファレンス件数	件	212	前期平均値	500	H26	554
指標②	えんぱーく利用者数	万人	-	-	40	H26	41

### III 施策の実施・進捗状況

		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
投入コスト (千円)	義務事業費	0				
	義務的事業費	95,281				
	プロジェクト事業費	44,147				
	人件費	25,118				
	合計	164,546				
成果	指標①	554	350	400	450	500
	指標②	40	40	40	40	40
CS調査	重要度	77.9%				
	満足度	33.0%				
分析	<コストの動き> 現状・維持・増加→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<CS結果(重要度)> 順位= 69/70位 (全体平均= 91.0%)			<CS結果(満足度)> 順位= 43/70位 (全体平均= 38.5%)	
	<重要性の変化> 高まっている・変わらない・低下→ <b>&lt;H22入力なし&gt;</b>	<目標達成> 順調・概ね順調・やや遅れている・遅れている→ <b>順調</b>				
成果達成状況 の要因説明	指標①	蔵書数も増え、来館者数も多かったため、想定以上のレファレンス数となった。				
	指標②	子どもから高齢者まで幅広い年代層の来館者があり、特に青少年の来館者が想定以上に多かった。				
今後の方針	<b>「知恵の交流を通じた人づくりの場」として、図書館における丁寧なレファレンスや豊富な資料の提供、講座・講演・イベント等の各種交流企画事業の充実、快適な環境の提供等により、更に来館者の増加を図る。</b>					

### IV 施策目標の実現手段の評価 (H22に実施した予算事業の評価)

総合評価および教育委員の評価・意見		
1. 庁内総合評価		
戦略展開の 方向性⇒	<b>②コストは現状を維持しながら成果を向上させる</b>	方向性の設定理由⇒ <b>施設の機能を十分に活用し、市民や企業の問題解決力を高め、多様な市民活動の拠点となることを目指すため</b>
2. 教育委員の評価・意見		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい市立図書館は、市民の期待に応える施設として多くの利用実績を上げ、成果をあげている。市民の課題解決の拠り所として、幅広い利活用が期待できる。レファレンスの質が高まるよう担当職員の資質向上に期待する。</li> <li>・市民交流センターは、図書館を中心として教育文化の拠点としての役割を担っている。他の教育文化施設との連携により市民の教育文化活動の向上に向けて相乗効果を期待する。</li> </ul>		



---

---

**平成22年度  
教育委員会自己点検・評価報告書**

平成23年10月

塩尻市教育委員会  
(塩尻市こども教育部教育総務課)

長野県塩尻市大門七番町4番3号  
電話 (0263) 52-0280 (代)  
HP アドレス <http://www.city.shiojiri.nagano.jp/>

---

---